

火薬類消費計画書（記載例）

鹿児島県株式会社

申請者氏名 代表取締役 ○○ ○○

消費の方法	(1) 消費時刻	午前8時 ~ 午後5時		
	(2) 発破する岩石の種類及び数量	砂岩 5,000m ³		
	(3) 発破の方法	1日の発破回数	(<u>㉑</u> 1 ~ <u>4</u> <u>①</u> 回)	
		1回の斉発数	(<u>㉒</u> 10 ~ <u>50</u> <u>②</u> 孔)	
		1発破孔当りの装薬量	(<u>㉓</u> 50 ~ <u>300</u> <u>③</u> g)	
	穿孔長	(2 ~ 3 m)		
	込め物の種類	(砂)		
	装薬の方法	(穿孔法)		
	結線の方法	(直列結線)		
(4) 発破時の退避の方法	発破10分前に100m以上離れた安全な場所に退避する。			
(5) 発破器具の設備の状況	電気発破器100発掛, テスター, 発破母線100m			
危害予防の方法	(6) 警戒の方法	発破10分前に赤旗と無線を使った見張人を配置し, 危険区域内に立ち入らせない。		
	(7) 警告の方法	発破5分前及び1分前にサイレンで警告する。		
	(8) 防護措置	古タタミ, 古タイヤ, 金網を使用する。		
	(9) 交通制限	発破5分前に通行止めを行う。 ※(4)~(9)は具体的に		
(10) 火薬類取扱所の概要	コンクリートブロック造 3.3m ² 定員2名 (設けない場合は「設けない」と記入)			
(11) 火工所の概要	テント式 2.1m ² 定員1名 ※構造, 面積, 定員等を記入			
(12) 消費場所内の運搬方法	運搬人が運搬箱2個を使用し, 徒歩で運搬する。 ※「誰が」, 「どのように」, 「箱の数も」も記入			
火薬類消費数量算定基礎	※6ヶ月で計算 ^⑮ 火薬類の種類	申請期間中見積数量	1日の使用量(概要)	月間使用量見積り ^⑭ ※平均10日で計算 (月間 5~15日使用)
		自 3年 5月 1日 至 3年 5月 31日	平均 最高	平均 最高
	爆薬 (kg)	^⑫ 1, 200	^④ 20 ^⑥ 60	^⑧ 200 ^⑩ 900
	電気雷管 (個)	^⑬ 7, 200	^⑤ 120 ^⑦ 200	^⑨ 1, 200 ^⑪ 3, 000

※数量算定上の留意

$a \times b \times c < 4 < 1 \times 2 \times 3$	$1 \times 2 \times 3 \geq 6$	$6 \times 15 \text{日以内} \geq 10$
$a \times b < 5 < 1 \times 2$	$1 \times 2 \geq 7$	$7 \times 15 \text{日以内} \geq 11$
	$4 \times 14 = 8$	$8 \times 15 \div 12$
	$5 \times 14 = 9$	$9 \times 15 \div 13$